

Ⅱ 調査結果の概要

1 人口の動向

(1) 総人口

本県の人口は、平成 29 年中に 9,369 人減少し、平成 30 年 1 月 1 日現在で 2,895,907 人となった。人口増減率は $\Delta 0.32\%$ となっている。

人口増減の内訳は、自然動態で 11,412 人の減少（増減率 $\Delta 0.39\%$ ）、社会動態で 2,043 人の増加（同 0.07% ）である。

男女別人口の内訳をみると、男が 3,486 人の減少（増減率 $\Delta 0.24\%$ ）、女が 5,883 人の減少（同 $\Delta 0.40\%$ ）であり、この結果、平成 30 年 1 月 1 日現在で男 1,445,518 人、女 1,450,389 人となっている。（統計表第 4 表）

(2) 性比及び人口密度

平成 29 年 10 月 1 日現在の性比は 99.6 であり、前年同月を 0.1 ポイント上回った。

また、平成 29 年 10 月 1 日現在の人口密度は 475.1 人/ km^2 であり、前年同月を 1.7 ポイント下回った。（統計表第 1 表）

(3) 地域別人口

市部及び郡部別にみた平成 29 年中の人口増減は、市部が 7,338 人の減少（増減率 $\Delta 0.28\%$ ）、郡部が 2,031 人の減少（同 $\Delta 0.76\%$ ）であった。この結果、平成 30 年 1 月 1 日現在の人口は市部が 2,631,435 人、郡部が 264,472 人となっており、県人口に占める割合は市部が 90.9%、郡部が 9.1%となっている。

次に、県内 5 地域別の人口増減をみると、県北地域が 5,248 人の減少（増減率 $\Delta 0.86\%$ ）、県央地域が 1,679 人の減少（同 $\Delta 0.36\%$ ）、鹿行地域が 834 人の減少（同 $\Delta 0.30\%$ ）、県南地域が 987 人の増加（同 0.10% ）、県西地域が 2,595 人の減少（同 $\Delta 0.47\%$ ）であった。この結果、各地域の県人口に占める割合は平成 30 年 1 月 1 日現在で県北地域が 21.0%（608,323 人）、県央地域が 16.0%（464,641 人）、鹿行地域が 9.4%（272,618 人）、県南地域が 34.6%（1,003,309 人）、県西地域が 18.9%（547,016 人）となっている。（統計表第 4 表）

(4) 市町村別人口

市町村別の人口増減をみると、9 市町村で増加、35 市町村で減少であった。最も増加数の多い市町村はつくば市（3,235 人）であり、以下、守谷市（671 人）、つくばみらい市（619 人）、神栖市（420 人）、牛久市（228 人）の順となっている。

一方、最も減少数の多い市町村は日立市（ $\Delta 2,183$ 人）であり、以下、筑西市（ $\Delta 861$ 人）、稲敷市（ $\Delta 797$ 人）、常陸太田市（ $\Delta 790$ 人）、石岡市（ $\Delta 704$ 人）の順となっている。

人口増減率をみると、最も増加率の高い市町村はつくば市（1.40%）であり、以下、つくばみらい市（1.24%）、守谷市（1.02%）、神栖市（0.44%）、牛久市（0.27%）の順となっている。

逆に最も減少率の高い市町村は大子町（ $\Delta 2.41\%$ ）であり、以下、稲敷市（ $\Delta 1.89\%$ ）、美浦村（ $\Delta 1.79\%$ ）、城里町（ $\Delta 1.71\%$ ）、河内町（ $\Delta 1.64\%$ ）の順となっている。（表 - 1）

表-1 市町村別人口増減数と人口増減率順位(平成 29 年)

人口増減数				人口増減率					
順位	上位10市町村		下位10市町村		順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減数(人)	市町村名	人口増減数(人)		市町村名	人口増減率(%)	市町村名	人口増減率(%)
1	つくば市	3,235	日立市	△ 2,183	1	つくば市	1.40	大子町	△ 2.41
2	守谷市	671	筑西市	△ 861	2	つくばみらい市	1.24	稲敷市	△ 1.89
3	つくばみらい市	619	稲敷市	△ 797	3	守谷市	1.02	美浦村	△ 1.79
4	神栖市	420	常陸太田市	△ 790	4	神栖市	0.44	城里町	△ 1.71
5	牛久市	228	石岡市	△ 704	5	牛久市	0.27	河内町	△ 1.64
6	古河市	74	北茨城市	△ 655	6	東海村	0.11	桜川市	△ 1.56
7	東海村	42	桜川市	△ 653	7	古河市	0.05	常陸太田市	△ 1.54
8	阿見町	17	常陸大宮市	△ 607	8	阿見町	0.04	北茨城市	△ 1.50
9	水戸市	12	坂東市	△ 604	9	水戸市	0.00	常陸大宮市	△ 1.45
10	ひたちなか市	△ 16	土浦市	△ 546	10	ひたちなか市	△ 0.01	高萩市	△ 1.43

図 1 市町村別人口増減率(平成 29 年)

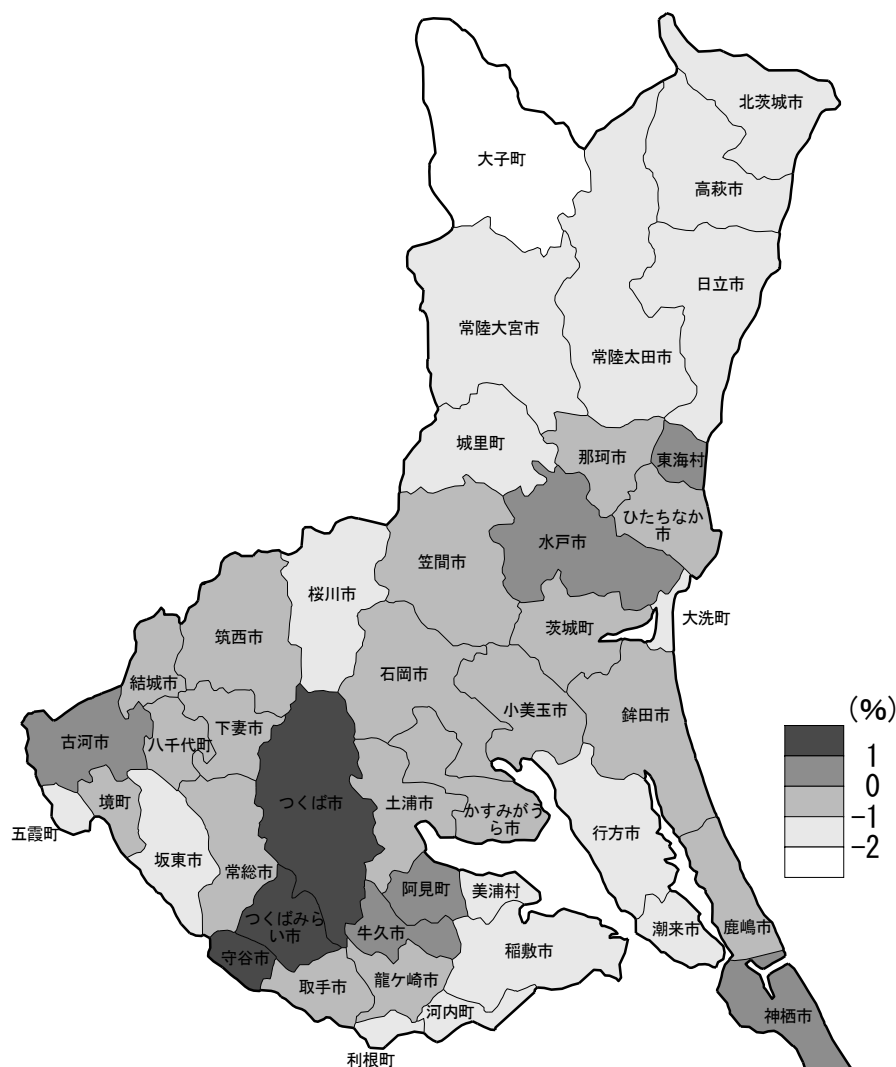
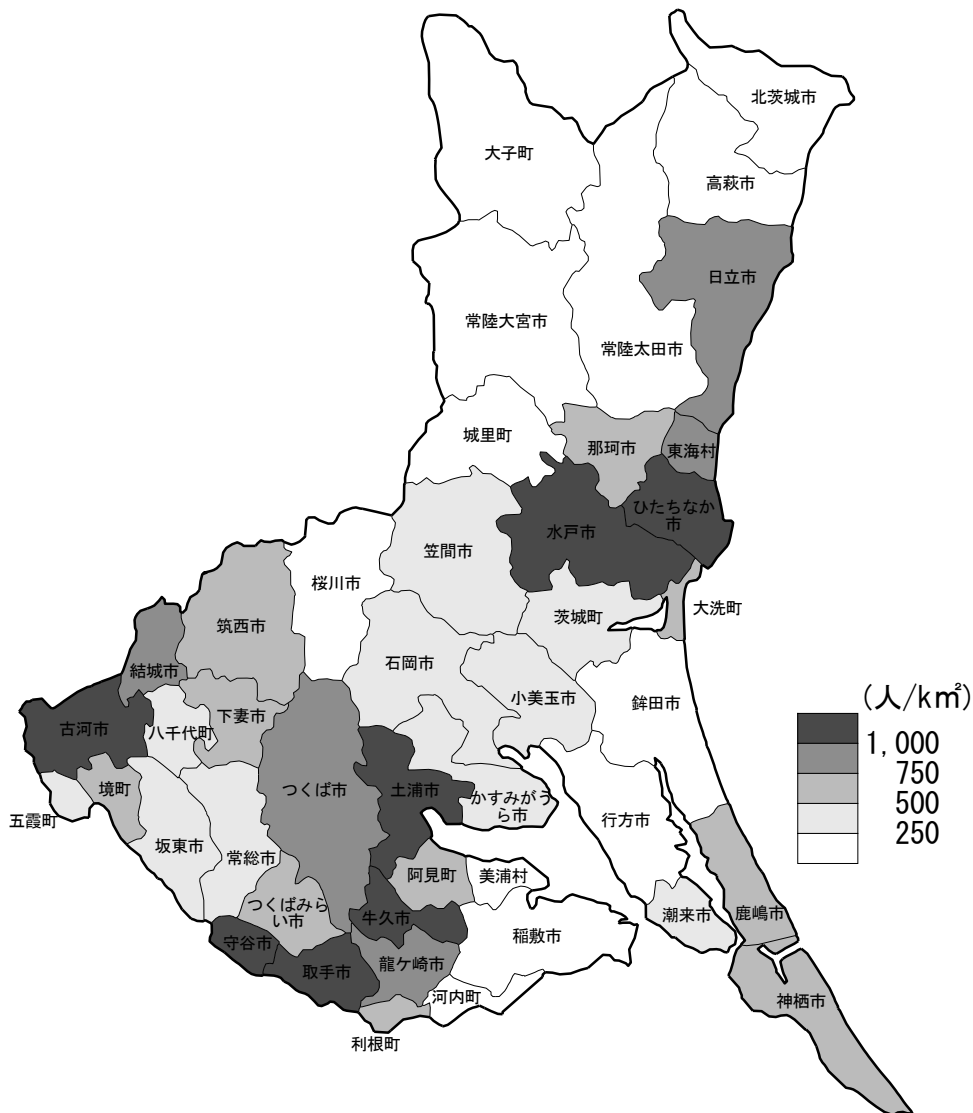


図2 市町村別人口密度(平成29年10月1日現在)



また、市町村の人口規模をみると、平成29年1月1日現在で20万人以上が2市（水戸市、つくば市）10万人以上20万人未満が6市（日立市、ひたちなか市、土浦市、古河市、取手市、筑西市）である。以上8市の合計は1,330,146人であり、県人口の約46%を占めている。郡部では3万人以上5万人未満の町村が3町村、2万人以上3万人未満の町村が2町、1万人以上2万人未満の町村が5町村、1万人未満が2町となっている。（表-2）

表-2 人口規模別市町村数の推移(平成7年～平成30年)

各年1月1日現在 人口(人)	平成	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	(年)	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
総数		86	85	85	85	85	85	85	84	83	83	75	50	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44		
市	市計	19	20	20	20	20	20	20	21	22	22	23	30	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	
	20万以上	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	10万以上20万未満	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	7.5万以上10万未満	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	
	5万以上7.5万未満	6	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	8	8	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	9	10
	3万以上5万未満	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	10	10	10	10	10	10	11	10	9	9	9	8	8
	3万未満	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	2	2	
町	郡計	67	65	65	65	65	65	65	63	61	61	52	20	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	
	5万以上	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	3万以上5万未満	13	12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	2万以上3万未満	15	16	15	15	15	15	14	12	11	11	10	6	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2	
	1万以上2万未満	20	22	23	23	23	23	24	25	25	25	22	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	
村	0.5万以上1万未満	14	10	10	10	10	10	10	9	9	9	8	3	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2		
	0.5万未満	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

2 自然動態

(1) 自然増減

平成 29 年中の自然動態は、出生 20,909 人、死亡 32,321 人で 11,412 人の減少となった。自然増減率は△0.39%となっている。

5 地域別の自然増減率をみると、県南地域が△0.23%と最も高く、以下、県央地域△0.32%、鹿行地域△0.46%、県西地域△0.54%、県北地域△0.56%の順となっている。

市町村別の自然増減率については、つくば市が 0.24%と最も高く、以下、守谷市が (0.22%)、つくばみらい市 (0.15%)、牛久市 (△0.05%)、水戸市 (△0.08%) の順となっている。(表 - 3、統計表第 6 表)

(2) 出生

平成 29 年中の出生者数は 20,909 人 (男 10,823 人、女 10,086 人)、出生率は 7.2‰であった。

5 地域別の出生率をみると、県央地域が 7.9‰と高く、以下、県南地域 (7.6‰)、鹿行地域 (7.0‰)、県西地域 (6.8‰)、県北地域 (6.4‰) の順となっている。

市町村別の出生率をみると、つくばみらい市が 10.8‰と最も高く、以下、つくば市 (9.9‰)、守谷市 (9.3‰)、水戸市 (9.1‰)、東海村 (8.7‰) の順となっている。(表 - 3)

(3) 死亡

平成 29 年中の死亡者数は 32,321 人 (男 17,051 人、女 15,270 人)、死亡率は 11.1‰であった。

5 地域別の死亡率をみると、県西地域が 12.2‰と高く、以下、県北地域 (12.0‰)、鹿行地域 (11.7‰)、県央地域 (11.0‰)、県南地域 (9.9‰) の順となっている。

市町村別の死亡率をみると、大子町が 21.2‰と最も高く、以下、常陸太田市 (15.8‰)、常陸大宮市 (15.7‰)、大洗町 (15.5‰)、行方市 (15.5‰) の順となっている。(表 - 3)

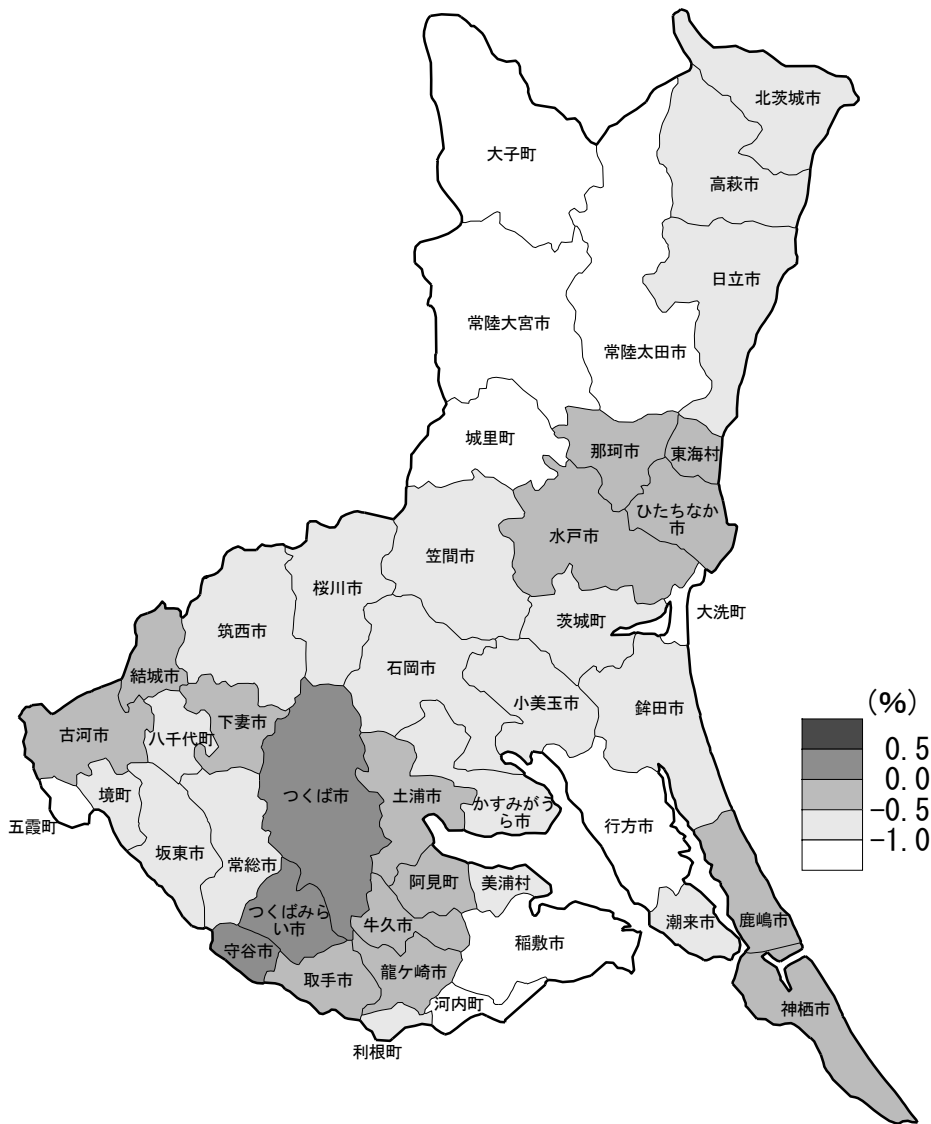
表-3 自然増減, 出生率及び死亡率順位(平成 29 年)

(自然増減率)				
順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	自然増減率(%)	市町村名	自然増減率(%)
1	つくば市	0.24	大子町	△ 1.65
2	守谷市	0.22	常陸太田市	△ 1.12
3	つくばみらい市	0.15	稲敷市	△ 1.11
4	牛久市	△ 0.05	五霞町	△ 1.09
5	水戸市	△ 0.08	常陸大宮市	△ 1.07

(出生率)				
順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	出生率(‰)	市町村名	出生率(‰)
1	つくばみらい市	10.8	利根町	2.6
2	つくば市	9.9	五霞町	3.7
3	守谷市	9.3	河内町	3.7
4	水戸市	9.1	城里町	3.8
5	東海村	8.7	稲敷市	4.2

(死亡率)				
順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	死亡率(‰)	市町村名	死亡率(‰)
1	大子町	21.2	守谷市	7.1
2	常陸太田市	15.8	つくば市	7.5
3	常陸大宮市	15.7	牛久市	8.3
4	大洗町	15.5	つくばみらい市	9.3
5	行方市	15.5	ひたちなか市	9.6

図3 市町村別自然増減率(平成29年)



3 社会動態

(1) 社会増減

平成29年中の社会動態は、転入者数119,330人、転出者数117,287人で2,043人の転入超過となった。社会増減率は0.07%となっている。

市部及び郡部別にみると、市部で2,315人の転入超過、郡部で272人の転出超過となった。5地域別では、県北地域が1,821人の転出超過、県央地域が209人の転出超過、鹿行地域が436人の転入超過、県南地域が3,260人の転入超過、県西地域が377人の転入超過となった。

市町村別では、転入超過が16市4町村、転出超過が16市8町村となっている。転入超過の割合が最も高い市町村はつくば市(社会増減率1.16%)であり、以下、つくばみらい市(同1.09%)、守谷市(同0.80%)、神栖市(同0.56%)、八千代町(同0.44%)の順となっている。

逆に転出超過の割合が最も高い市町村は美浦村(社会増減率 Δ 1.25%)であり、以下、高萩市(同 Δ 0.79%)、稲敷市(同 Δ 0.79%)、大子町(同 Δ 0.76%)、北茨城市(同 Δ 0.69%)の順となっている。(表-4, 統計表第8表)

(2) 移動数

平成 29 年中の移動数は 236,617 人、移動率は 8.14%であった。

また、県内市町村間の移動状況をみると、転入者数 48,025 人、転出者数 48,245 人であった。

一方、県外間の移動状況をみると、転入者数 68,471 人、転出者数 64,673 人であった。

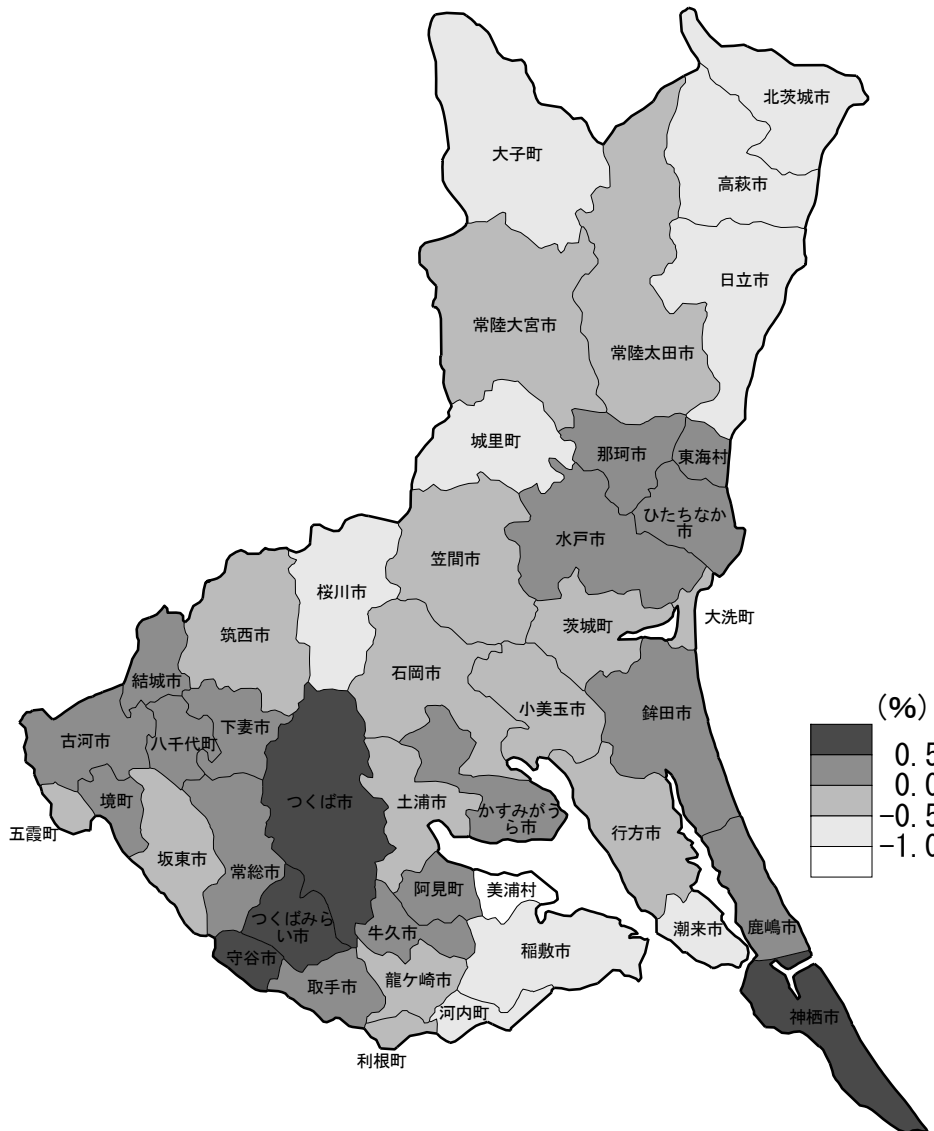
市町村別の移動率をみると、つくば市が 13.02%と最も高く、以下、取手市 (11.43%)、守谷市 (10.26%)、土浦市 (9.82%)、銚田市 (9.73%) の順となっている。

(表 - 4 , 統計表第 8 表)

表-4 社会増減率及び移動率順位(平成 29 年)

社会増減率				移動率					
順位	上位5市町村		下位5市町村		順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増減率(%)	市町村名	社会増減率(%)		市町村名	移動率(%)	市町村名	移動率(%)
1	つくば市	1.16	美浦村	△ 1.25	1	つくば市	13.02	大子町	4.23
2	つくばみらい市	1.09	高萩市	△ 0.79	2	取手市	11.43	常陸太田市	4.65
3	守谷市	0.80	稲敷市	△ 0.79	3	守谷市	10.26	城里町	4.74
4	神栖市	0.56	大子町	△ 0.76	4	土浦市	9.82	桜川市	4.84
5	八千代町	0.44	北茨城市	△ 0.69	5	銚田市	9.73	常陸大宮市	4.87

図 4 市町村別社会増減率(平成 29 年)



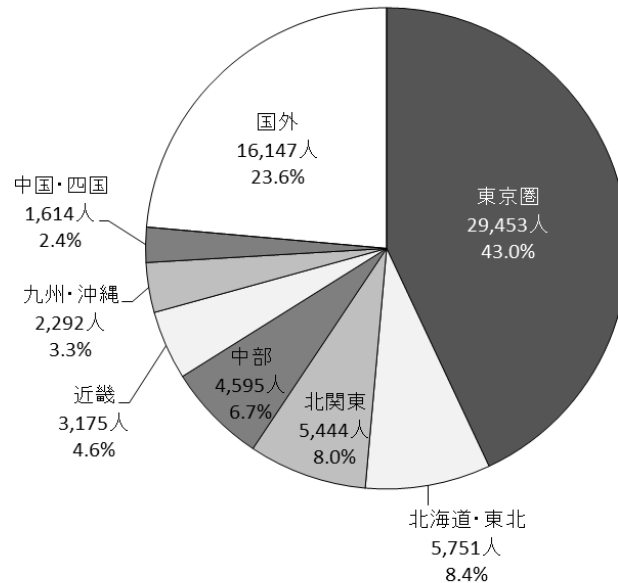
(3) 地域(都道府県)間移動

① 県外からの転入

平成 29 年中の県外からの転入者 68,471 人について、従前の住所地を全国地域区分別にみると、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）が 29,453 人と最も多く、次いで北海道・東北地方 5,751 人、北関東 5,444 人、中部地方 4,595 人などとなっている。また、国外は 16,147 人となっている。（図 - 5，統計表第 9 表）

都道府県別にみると、東京都が 10,639 人と最も多く、次いで千葉県 8,921 人、埼玉県 5,565 人、神奈川県 4,328 人、栃木県 4,090 人、福島県 1,949 人などとなっている。（統計表第 9 表）

図 5 地域区分別県外転入者数(平成 29 年)

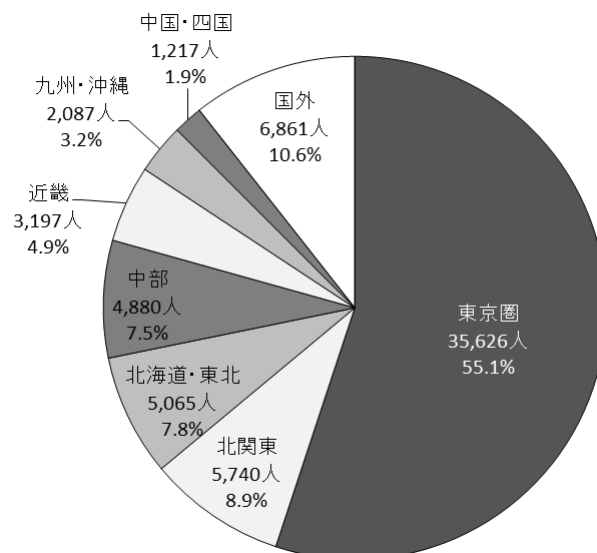


② 県外への転出

平成 29 年中の県外への転出者 64,673 人について、転出先の住所地を全国地域区分別にみると、東京圏が 35,626 人と最も多く、次いで北関東 5,740 人、北海道・東北地方 5,065 人、中部地方 4,880 人などとなっている。また、国外は 6,861 人となっている。（図 - 6，統計表第 10 表）

都道府県別にみると、東京都が 12,995 人と最も多く、次いで千葉県 10,307 人、埼玉県 6,956 人、神奈川県 5,368 人、栃木県 4,049 人、群馬県 1,691 人などとなっている。（統計表第 10 表）

図 6 地域区分別県外転出者数(平成 29 年)



③ 転入超過

平成 29 年中の本県の都道府県別転入超過数（県外転入者数から県外転出者数を差し引いた数）をみると、本県への転入超過は福島県（420 人）、広島県（136 人）、福岡県（110 人）など 31 道府県で、本県からの転出超過は東京都（2,356 人）、埼玉県（1,391 人）、千葉県（1,386 人）など 15 都府県となっている。（表 - 5，統計表第 13 表）

表 - 5 本県と他都道府県との転入超過数順位（平成 28 年，29 年）

【平成28年】				【平成29年】					
順位	上位5都道府県		下位5都道府県		順位	上位5都道府県		下位5都道府県	
	都道府県名	転入超過数(人)	都道府県名	転入超過数(人)		都道府県名	転入超過数(人)	都道府県名	転入超過数(人)
1	福島県	397	東京都	△ 3,031	1	福島県	420	東京都	△ 2,356
2	福岡県	187	千葉県	△ 1,766	2	広島県	136	埼玉県	△ 1,391
3	兵庫県	136	埼玉県	△ 1,317	3	福岡県	110	千葉県	△ 1,386
4	青森県	126	神奈川県	△ 829	4	秋田県	81	神奈川県	△ 1,040
5	秋田県	125	群馬県	△ 500	5	山形県	78	群馬県	△ 337

(4) 地域(県内及び近隣都県)間移動

平成 29 年中の地域間移動数について、県内は 5 地域間、県外は近隣都県別でみると、県内・県外いずれにおいても県南地域の移動数が最も多くなっている。

県内間移動をみると、県南地域では他の 4 地域に対してすべて転入超過であった。

県外（近隣都県）間移動をみると、近隣都県への転出超過数は東京都が 2,356 人で最も多く、以下、埼玉県（1,391 人）、千葉県（1,386 人）、神奈川県（1,040 人）、群馬県（337 人）の順となっている。県外に対しての超過数を 5 地域別にみると、県央地域、鹿行地域、県南地域、県西地域で転入超過であり、県北地域で転出超過であった。（表 - 6，統計表第 13 表）

表 - 6 県内及び県外（近隣都県）別地域間移動数及び超過数（平成 29 年）

地 域	茨城県		県北地域		県央地域		鹿行地域		県南地域		県西地域			
	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）		
全体	転入計	116,496	100.0	16,978	100.0	17,908	100.0	10,441	100.0	50,217	100.0	20,952	100.0	
	転出計	112,918	100.0	18,739	100.0	17,841	100.0	9,373	100.0	46,392	100.0	20,573	100.0	
	超過数	3,578	-	△ 1,761	-	67	-	1,068	-	3,825	-	379	-	
県内	転入者数	県内計	48,025	41.2	8,858	52.2	9,027	50.4	3,574	34.2	19,425	38.7	7,141	34.1
		県北地域	9,732	8.4	4,861	28.6	3,032	16.9	291	2.8	1,287	2.6	261	1.2
		県央地域	8,996	7.7	2,412	14.2	2,851	15.9	675	6.5	2,445	4.9	613	2.9
		鹿行地域	3,781	3.2	273	1.6	678	3.8	1,838	17.6	734	1.5	258	1.2
		県南地域	17,920	15.4	1,001	5.9	1,926	10.8	639	6.1	12,482	24.9	1,872	8.9
		県西地域	7,596	6.5	311	1.8	540	3.0	131	1.3	2,477	4.9	4,137	19.7
	転出者数	県内計	48,245	42.7	9,807	52.3	9,028	50.6	3,771	40.2	18,023	38.8	7,616	37.0
		県北地域	8,898	7.9	4,889	26.1	2,417	13.5	270	2.9	1,007	2.2	315	1.5
		県央地域	9,109	8.1	3,068	16.4	2,866	16.1	671	7.2	1,955	4.2	549	2.7
		鹿行地域	3,570	3.2	293	1.6	675	3.8	1,836	19.6	637	1.4	129	0.6
		県南地域	19,523	17.3	1,296	6.9	2,458	13.8	734	7.8	12,548	27.0	2,487	12.1
		県西地域	7,145	6.3	261	1.4	612	3.4	260	2.8	1,876	4.0	4,136	20.1
	超過数	県内計	△ 220	*	△ 949	*	△ 1	*	△ 197	*	1,402	*	△ 475	*
		県北地域	834	*	△ 28	*	615	*	21	*	280	*	△ 54	*
		県央地域	△ 113	*	△ 656	*	△ 15	*	4	*	490	*	64	*
		鹿行地域	211	*	△ 20	*	3	*	2	*	97	*	129	*
		県南地域	△ 1,603	*	△ 295	*	△ 532	*	△ 95	*	△ 66	*	△ 615	*
		県西地域	451	*	50	*	△ 72	*	△ 129	*	601	*	1	*
県外	転入者数	県外総数	68,471	58.8	8,120	47.8	8,881	49.6	6,867	65.8	30,792	61.3	13,811	65.9
		栃木県	4,090	3.5	377	2.2	522	2.9	187	1.8	930	1.9	2,074	9.9
		群馬県	1,354	1.2	167	1.0	213	1.2	92	0.9	464	0.9	418	2.0
		埼玉県	5,565	4.8	550	3.2	690	3.9	351	3.4	2,342	4.7	1,632	7.8
		千葉県	8,921	7.7	819	4.8	933	5.2	1,557	14.9	4,575	9.1	1,037	4.9
		東京都	10,639	9.1	1,312	7.7	1,509	8.4	774	7.4	5,226	10.4	1,818	8.7
		神奈川県	4,328	3.7	813	4.8	658	3.7	438	4.2	1,870	3.7	549	2.6
		その他の道府県	33,574	28.8	4,082	24.0	4,356	24.3	3,468	33.2	15,385	30.6	6,283	30.0
		転出者数	県外総数	64,673	57.3	8,932	47.7	8,813	49.4	5,602	59.8	28,369	61.2	12,957
	栃木県		4,049	3.6	397	2.1	514	2.9	122	1.3	939	2.0	2,077	10.1
	群馬県		1,691	1.5	141	0.8	245	1.4	102	1.1	506	1.1	697	3.4
	埼玉県		6,956	6.2	698	3.7	832	4.7	408	4.4	2,629	5.7	2,389	11.6
	千葉県		10,307	9.1	1,079	5.8	1,144	6.4	1,568	16.7	5,294	11.4	1,222	5.9
	東京都		12,995	11.5	2,017	10.8	2,075	11.6	963	10.3	6,036	13.0	1,904	9.3
	神奈川県		5,368	4.8	941	5.0	836	4.7	500	5.3	2,264	4.9	827	4.0
	その他の道府県		23,307	20.6	3,659	19.5	3,167	17.8	1,939	20.7	10,701	23.1	3,841	18.7
	超過数		県外総数	3,798	*	△ 812	*	68	*	1,265	*	2,423	*	854
		栃木県	41	*	△ 20	*	8	*	65	*	△ 9	*	△ 3	*
群馬県		△ 337	*	26	*	△ 32	*	△ 10	*	△ 42	*	△ 279	*	
埼玉県		△ 1,391	*	△ 148	*	△ 142	*	△ 57	*	△ 287	*	△ 757	*	
千葉県		△ 1,386	*	△ 260	*	△ 211	*	△ 11	*	△ 719	*	△ 185	*	
東京都		△ 2,356	*	△ 705	*	△ 566	*	△ 189	*	△ 810	*	△ 86	*	
神奈川県		△ 1,040	*	△ 128	*	△ 178	*	△ 62	*	△ 394	*	△ 278	*	
その他の道府県		10,267	*	423	*	1,189	*	1,529	*	4,684	*	2,442	*	

注1) 転入は表側から表頭への、また転出は表頭から表側への移動者数である。

2) 県内の転入者数及び転出者数は、各市町村ごとの転入者数及び転出者数を積み上げ、それを5地域別及び県全体で表したものである。

3) 超過数とは、以下の内容を意味するものである。

- ・表頭から表側に対しては、正の数は転入超過を表し、負の数は転出超過を表すものである。
- ・表側から表頭に対しては、正の数は転出超過を表し、負の数は転入超過を表すものである。

4) その他の道府県には国外を含む。

5) その他の移動者（従前の住所地なし、転出先不明等）数は含まない。

県内の各市町村を平成 29 年中の県外移動率及び県内移動率を基に 3 類型（県外移動型、県内移動型、バランス型）に分けると、県外移動型は鹿行地域や県南地域、県西地域の県境に位置する市町村に多い傾向にあり、県内移動型は県北地域や県央地域に位置する市町村に多い傾向にある。

また、土浦市、ひたちなか市、潮来市、小美玉市、河内町、境町は県外移動者数と県内移動者数が概ね半々であるバランス型となっている。（図 - 7）

市町村別に県外移動率をみると、古河市が 83.1%と最も高く、以下、五霞町（82.6%）、取手市（77.1%）、利根町（74.8%）、神栖市（74.1%）の順となっている。

また、県内移動率をみると、茨城町が 74.5%と最も高く、以下、那珂市（72.2%）、城里町（66.3%）、常陸太田市（65.7%）、かすみがうら市（62.6%）となっている。（表 - 7、統計表第 8 表）

表 - 7 社会移動における県外移動率、県内移動率順位（平成 28 年、29 年）

【平成28年】					【平成29年】				
順位	市町村名	県外移動率 (%)	市町村名	県内移動率 (%)	順位	市町村名	県外移動率 (%)	市町村名	県内移動率 (%)
1	古河市	82.5	茨城町	73.1	1	古河市	83.1	茨城町	74.5
2	五霞町	80.8	那珂市	71.4	2	五霞町	82.6	那珂市	72.2
3	取手市	76.6	城里町	67.0	3	取手市	77.1	城里町	66.3
4	神栖市	74.3	常陸太田市	65.0	4	利根町	74.8	常陸太田市	65.7
5	利根町	73.5	かすみがうら市	62.3	5	神栖市	74.1	かすみがうら市	62.6

$$\text{※県外移動率(\%)} = \frac{\text{県外転入者数} + \text{県外転出者数}}{\text{総移動数(その他を除く)}} \times 100$$

$$\text{※県内移動率(\%)} = \frac{\text{県内転入者数} + \text{県内転出者数}}{\text{総移動数(その他を除く)}} \times 100$$

(6) 年齢別社会動態

平成 29 年中の県内における年齢別転入及び転出者数を 5 歳階級別にみると、20 歳～24 歳（845 人）、25 歳～29 歳（495 人）及び 30 歳～34 歳（14 人）において転出超過が多くなっている。転出超過数を各歳別にみると、23 歳が 1,100 人の転出超過（転入 5,602 人、転出 6,702 人）と最も多く、次いで 24 歳が 295 人（転入 4,649 人、転出 4,944 人）、25 歳が 232 人（転入 5,195 人、転出 5,427 人）となっている。（図 - 8、統計表第 14 表）

地域別の社会増減数を 5 歳階級別にみると、県北地域・県央地域では 20 歳～24 歳、鹿行地域では 35 歳～39 歳、県南地域・県西地域では 25 歳～29 歳の転出超過が多くなっている。（図 - 9、統計表第 14 表）

また、平成 29 年中の県外転入者数と県外転出者数を比較すると、20 歳～24 歳の階級で転出超過となっており、その他の各階で転入超過となっている。（図 - 10、統計表第 13 表）

図8 年齢(5歳階級)別転入及び転出者数

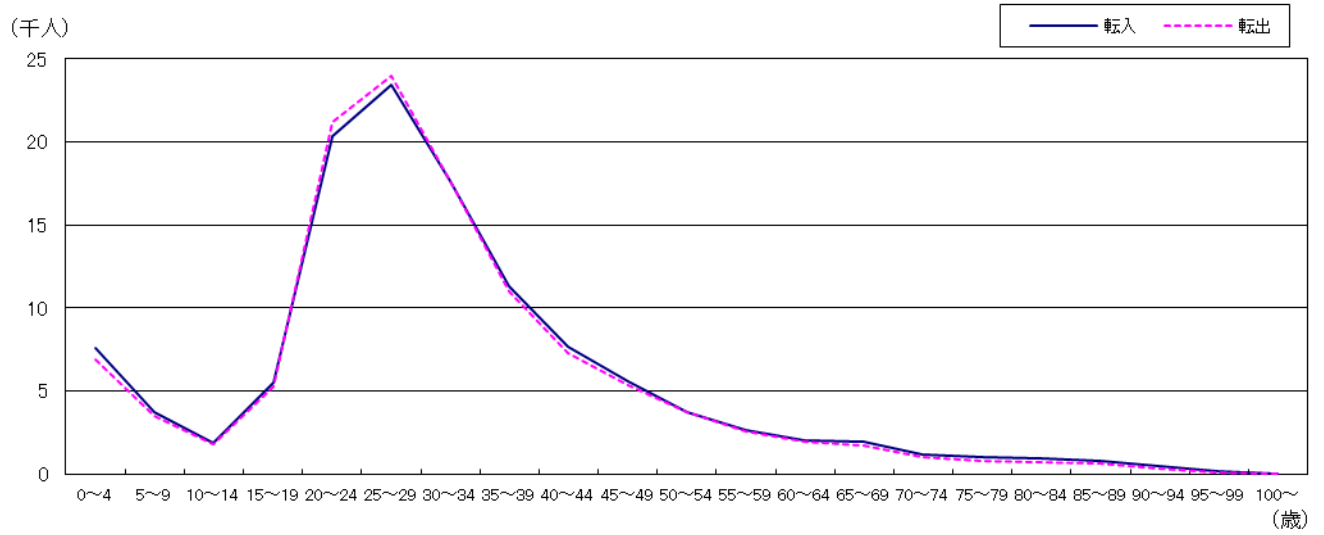


図9 地域及び年齢(5歳階級)別社会増減数

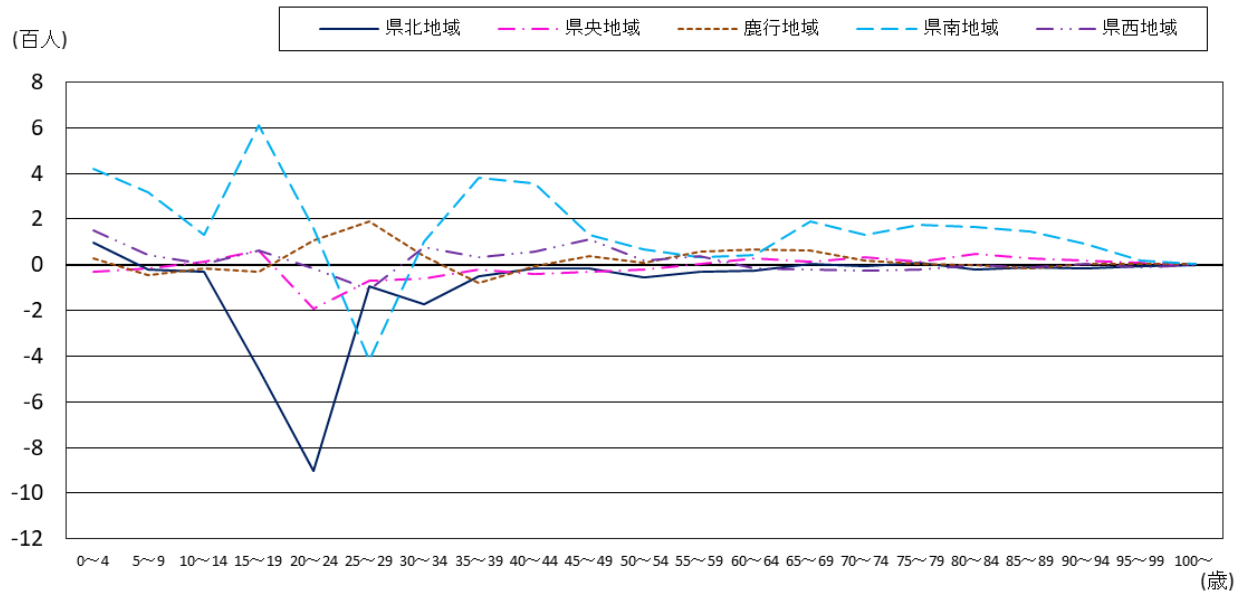
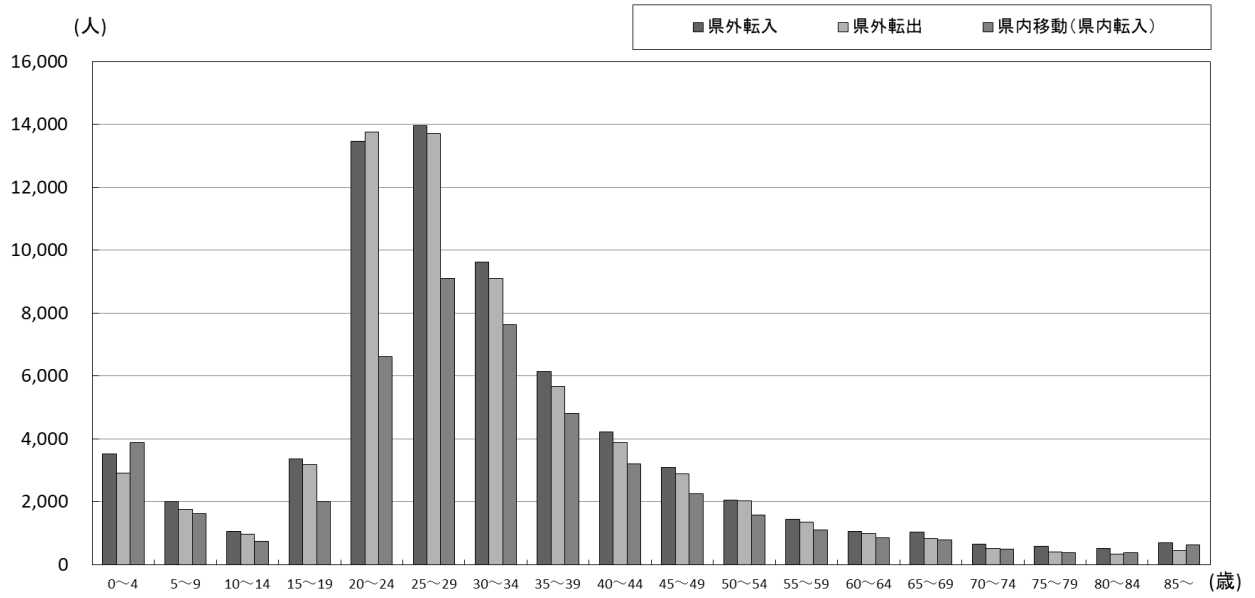


図 10 年齢(5歳階級)別移動者数



4 世帯数, 1世帯あたり人員

平成 30 年 1 月 1 日現在の世帯数は 1,152,490 世帯であり, 平成 29 年中に 13,688 世帯増加し, 増減率は 1.20%となっている。(図 - 11, 統計表第 3 表)

1 世帯あたり人員については, 平成 29 年 10 月 1 日現在 2.52 人となっている。(統計表第 1 表)

図 11 人口増減率及び世帯数増減率の推移

